



12年間で20万人以上が受験の定番資格

個人情報保護士認定試験

企業のリーダー、管理職、IT関連職に必須
個人情報保護のエキスパートになる



[令和4年4月1日より改正個人情報保護法 全面施行]

令和2年6月に公布された「改正個人情報保護法」が段階的に施行され、令和4年4月1日より全面施行となります。法定刑の引き上げや「仮名加工情報」の創設、不適切利用の禁止など様々な変更がなされています。

▶ 新型コロナウイルス感染症対策のため
自宅・会社での受験が可能なシステム
「オンライン・ライブ検定」を実施中

試験日程

第64回 2021年 9月19日(日)

第65回 2021年12月12日(日)

第66回 2022年 3月13日(日)

申込期間

第64回 5月21日(金) ▶ 8月19日(木)

第65回 8月24日(火) ▶ 11月4日(木)

第66回 11月9日(火) ▶ 2月 3日(木)

※会場によっては期日前に申込受付を締める場合がございます。
※公開会場、オンライン・ライブ検定も同日締切

実施概要

試験時間 ▶ 10:00~12:45

検定料 ▶ 11,000円(税込)

問題形式 ▶ マークシート方式(4択)

試験会場

試験会場 オンライン・ライブ受験も同時実施
東京会場 … 東京大学(駒場Iキャンパス)ほか
全国11会場にて開催いたします。

※会場の詳細はホームページをご確認ください。

オンライン・De・資格キャンペーン

—こんな時代だから資格を取ろう—

個人情報保護士 SMART 合格講座

[収録内容]

- SMART 動画 約3時間45分
- ※詳細解説オプション(約28時間版)+2,200円(税込)
- SMART 答練 約2時間20分
- WEB 模擬試験 2回分

定価 23,100円(税込)のところ

今だけ特別価格
⇒ **17,600円(税込)**

詳しくは ▶ https://www.joho-gakushu.jp/smartinfo/k_piip/

全国800社以上の優良企業の社員が全情協の情報関連の検定を受験しています。

AIG 損害保険(株) CCK: シティコンピューター(株) NEC マネジメントパートナー(株) NOC アウトソーシング&コンサルティング(株) SCSK(株) TIS システムサービス(株) TIS ソリューション(株) TIS(株) アイコム(株) アクサ生命保険(株) ソフトバンク(株) イオンクレジットサービス(株) イオン保険サービス(株) エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー(株) エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株) エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株) オニシアノックス(株) キヤノンマーケティングジャパン(株) キヤノンシステムアンドサポート(株) コニカミノルタジャパン(株) さくら情報システム(株) サンライフ・クリエイション(株) JR 東日本ビルテック(株) シャープ(株) シンカ・システムズ(株) スカパー JSAT(株) セコム(株) セコム山陰(株) データリンク(株) (株)ドコモ CS 東芝テックソリューションサービス(株) トランスコスモス(株) ナビオコンピュータ(株) パナソニック(株) パーソルテンプスタッフ(株) NTT ドコモ (株)シー・アイ・シー (株)シー・ツー・エム (株)ディック学園 (株)ティベース (株)データリーフ (株)トウインクル (株)トランスネット (株)ナイテイングール (株)ニチワ (株)パスコ (株)ハツコーエレクトロニクス (株)パソファロー・IT・ソリューションズ (株)ヒト・コミュニケーションズ (株)ファミリーネット・ジャパン (株)フォーエバー (株)フォーバル (株)ほけんのぜんぶ (株)マイテック (株)マースターケンソリューション (株)ミニミニ (株)ランドスケイプ (株)リログループ他グループ各社 (株)ローソン (株)角川アスキー総合研究所 (株)中電シーティーアイ (株)読売 IS (株)日本パープル (株)日立製作所 (株)日立ソリューションズ他グループ各社 (株)富士通エフサス (株)明光商会 (株)高島屋 協栄産業(株) 東日本電信電話(株)凸版印刷(株) 日本オフィス・システム(株) 日本データコム 日本化薬(株) 日本管財(株) 日本証券代行(株) 日本生命保険相互会社 浜口通販(株) 郵船トラベル(株) 理想科学工業(株) 広告社(株) 本田技研工業(株) 共立印刷(株) 高島屋クレジット(株) 一般財団法人日本自動車査定協会 セコムトラストシステムズ(株) ※受験者数の多い企業を抜粋

全情協が実施している各種検定試験

ISME 情報セキュリティ管理士認定試験
情報セキュリティリスクと対策に精通したエキスパートを認定

JSE 情報セキュリティ初級認定試験
情報化社会の必須知識! セキュリティ対策の基本知識の理解

IB® インバウンド実務主任者認定試験
インバウンドビジネスを有利に展開するために必須の資格

PiPL 個人情報保護実務検定(1~2級)
個人情報保護法の理解と保護の実践力を身につける

WSM 働き方マネージャー認定試験
働き方改革の概要を学ぶ上級クラスの資格

WSRM 働き方マスター試験
働き方改革の概要を学ぶ中級クラスの資格

LTC 労働法務士認定試験
人事・労務・法務などで必須の労働法に精通したエキスパートを認定

NNS マイナンバー実務検定(1~3級)
マイナンバー制度を理解し、適正な取扱いをするための資格

お申込みは協会ホームページから ▶

<https://www.joho-gakushu.or.jp/piip/>

全情協

検索

■試験に関するお問合せ
03-5276-0030

一般財団法人
全日本情報学習振興協会

東京都千代田区神田三崎町3-7-12 清話会ビル 5F
TEL:03-5276-0030 FAX:03-5276-0551
E-Mail:joho@joho-gakushu.or.jp

個人情報保護士認定試験 <<概要>>

出題分野	
I. 個人情報保護の総論	個人情報保護法の歴史
	海外における個人情報の取扱規則
	個人情報に関連する事件・事故
	各種認定制度
	個人情報の定義と分類
	個人情報取扱事業者
	条文に対する知識と理解
	マイナンバー法の背景・概要
	マイナンバー法の条文に対する知識と理解
	マイナンバー法の条文に対する知識と理解
II. 個人情報保護の対策とセキュリティ	脅威と脆弱性に対する理解
	組織体制の整備
	人的管理の実務知識
	物理的管理の実務知識
	技術的管理の実務知識
合格点	課題Ⅰ、課題Ⅱ 各課題 70%以上の正答
試験時間	150分
検定料	11,000円(税込)

※その他、詳しい試験内容につきましてはホームページをご覧ください。

個人情報保護士認定試験 過去問題に挑戦

【問】「要配慮個人情報」に関する以下のアからエまでの記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 労働安全衛生法に基づいて行われたストレスチェックの結果が含まれる個人情報は、「要配慮個人情報」には該当しない。
- イ. 特定の政党が発行する新聞や機関誌等を購読しているという情報が含まれる個人情報は、「要配慮個人情報」には該当しない。
- ウ. 不起訴処分となった事実が含まれる個人情報は、「要配慮個人情報」には該当しない。
- エ. 健康診断、診療等の事業及びそれに関する業務とは関係のない方法により知り得た、身長・体重・血圧・脈拍・体温等の個人の健康に関する情報であっても、「要配慮個人情報」に該当する。

解答:イ

【問】「個人情報データベース等」に関する以下のアからエまでの記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 従業者が、自己の名刺入れについて、他人には容易に検索できない独自の分類方法により名刺を分類した状態であっても、「個人情報データベース等」に該当する。
- イ. 従業者が、名刺の情報を業務用パソコンの表計算ソフト等を用いて入力・整理している場合、当該パソコンが従業者所有であっても、「個人情報データベース等」に該当する。
- ウ. 宅配便の送り状を受けた日付順に並べてファイリングしている場合、特定の個人情報が含まれている送り状を検索し、抽出することが容易にできる状態に整理していないときには、「個人情報データベース等」には該当しない。
- エ. 市販の職員録のデータをインターネット上からダウンロードして購入した場合、「個人情報データベース等」に該当しない。

解答:ア

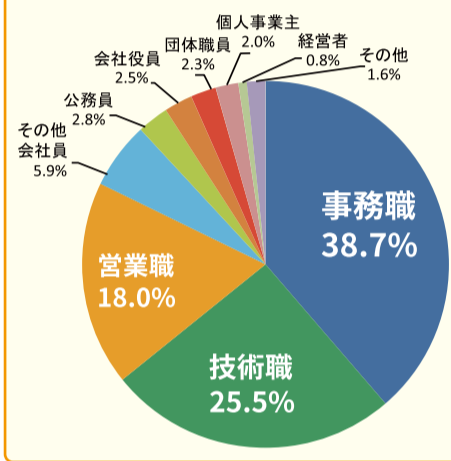
受験体験談

(情報機器販売 営業)

弊社の主力商品がオフィス内のネットワーク機器となるため、お客様の規範となるべく、社員全員が最低限のセキュリティ知識を持ち、お客様にご提案できるようにと考え社内教育を開始しました。以前は社内勉強会やマニュアルの配布などを中心に行っていましたが、中には研修後に習ったばかりの内容を質問する社員がいたり、成果がなかなか見えませんでした。

そこで、資格試験であれば客観的に理解度を判断できると考え、弊社では個人情報保護士ならびに情報セキュリティ管理士の2つの資格を導入するに至りました。現在では社員の約半分がどちらかの資格を取得済みとなり、昨年から内定者を対象とした入社前受験の推奨も始めました。お客様からは、弊社の社員はよく勉強しており、安心して任せられるとお褒めいただくことも度々あり、反応に満足しております。

こんな方が受験されています



◆ 個人情報保護関連試験のポジショニング

個人情報保護士認定試験は、個人情報保護法の理解および実務において適正な個人情報保護を実践できる人材を目指す「個人情報保護実務検定」の上位試験となっております。

個人情報保護法、マイナンバー法、情報セキュリティにおいてエキスパートを目指す試験となっております。



◆ 参考書籍



【全日本情報学習振興協会版】
個人情報保護士認定試験公式精選問題集
¥2,420(税込)



【第7版】
個人情報保護士認定試験公式精選問題集
¥1,980(税込)

購入は全国の書店
または、オンライン
ショップにて

試験と同時申込でお得に学習!

個人情報保護士 SMART合格講座

重要点を徹底理解 最短の学習で合格する

基礎から合格レベルまでの、要点や重要ポイントの映像講座4時間程度を、好きな時に好きなだけ分割して学ぶことができます。並行して出題傾向をつかみ、知識を整理するために、SMART答練で重要問題に挑戦して実践力をつけます。SMART答練では、1問ごとに講師が、出題のねらいと、解答と解説を行います。

【受講料】 23,100円(税込) ⇒ **17,600円(税込)**

【詳細】 https://www.joho-gakushu.jp/smartinfo/k_piip/

【講座内容・所要時間】

- ・ SMART 動画 3時間 45分
- ※詳細解説オプション 約28時間は +2,200円
- ・ SMART 答練 2時間 20分
- ・ SMART 模擬試験 2回分

【講師】 岩田修 特任講師

オンライン・ライブ検定とは

オンライン・ライブ検定をご希望の方は、パソコンとWebカメラ（視野角120°以上）をご用意下さい。

本検定試験はいわゆる「ネット検定」と言われるものと異なり、Webカメラで本人確認と不正防止を行うシステムを備えて、ライブで実施する試験であり、公開会場と同等の厳格な検定試験です。ルールが厳しい面もありますが、ご協力をお願いいたします。

合格者には合格証書、本人の写真付きの合格カードを発行いたします。「オンライン・ライブ検定」は以下の要領により実施いたします。

なお、スマートフォン、タブレットは利用できません。

【受験会場】

受験可能な場所

会社、学校、自宅、知人宅など、どこでも、インターネット環境が整備されていれば受験することが可能です。ただし、試験中は他の方と話したり、接触したりすることはできませんので、できるだけ静かな場所、他の方と接触しない場所をお選び下さい。
※海外で受験することはできません。



【受験者の方にご用意していただくもの】

1. パソコン・Webカメラ（視野角120°以上）

デスクトップパソコン、ノートパソコンの何れでも受験可能です。スマートフォンやタブレットでは受験できません。問題も回答欄もパソコン上で。受験には視野角120°以上のWebカメラが必須となります。



2. インターネット環境の整備

インターネットは、有線でもWi-Fiでも構いません。なお、環境整備に要する費用は受験者の方の自己負担とさせていただきます。



3. 受験時の持ち物

問題用紙がありませんので、メモを必要とする場合のために、A4までの白紙1枚と鉛筆又はボールペンなど1〜2本を机の上に持ち込むことができます。ただし、筆箱の利用は禁止です。書籍、ノート、スマートフォン、その他の物品は机の上に置くことができません。

【オンライン・ライブ検定 受験の流れ】

1. オンライン・ライブ検定システムによる受験方法

- ①試験開催日の一週間前までにメールで「受験票」を配信します。
- ②本試験用のサイトにアクセスし、「受験票」に記載の受験者IDとパスワードでログインしてください。
- ③合格カードに利用するご自分の写真をWebカメラに向かって撮影してください。
- ④Webカメラを横に置いて、受験中に自分の顔、手元、パソコン画面の3点が映るかを確認して下さい。
- ⑤検定システムがスタートすると、まずオンライン映像により「受験上の注意」を行います。
- ⑥次に「用意」「始め」の合図があったら、「開始ボタン」を押して試験を開始します。自動的に試験が開始し、制限時間がカウントダウンされ、所定の時間が経過すると自動的に試験が終了されます。
- ⑦制限時間になると、映像で試験終了のアナウンスと解答速報、証書交付などのスケジュールが告知され試験がすべて終了します。

2. オンライン・ライブ検定システムによる回答方法

- ①本検定システムでは、2択・4択・5択の3種類の設問形式があり、設問が1番より、順次表示されますので、回答を選択して下さい。
- ②なお回答は、必ずしも順次答える必要はありません。飛ばしておいて後で答えたり、戻って訂正することもできます。

※本リーフレットは、協会ホームページよりPDFにてダウンロード頂くことができます。社内回覧などにご利用下さい。

<https://www.joho-gakushu.or.jp/piip/>

■お問合せ先

03-5276-0030

一般財団法人
全日本情報学習振興協会

東京都千代田区神田三崎町3-7-12 清話会ビル 5F
FAX:03-5276-0551